

## 第67回県下一周駅伝が開催！ 5日間で584.1kmを駆け抜けました

2月15日(土)から19日(水)にかけて『第67回鹿児島県下一周市郡対抗駅伝競走大会』が開催され、県内12地区の代表選手が53区間584.1kmを駆け抜けました。

郷土入りとなった18日(火)、本町唯一の中継所である三文字中継所では、多くの住民の方々の声援を背に、第3位で堀口陽太選手(曾於市出身)から本町職員の米永夏輝選手(西井俣)へ襷が繋がりました。

襷を受けた米永選手は先行する2チームを追い上げ、曾於チーム日間2位の結果に大きく貢献する力走をみせました。

### 大会結果(総合順位)

順位	チーム	所要時間	順位	チーム	所要時間
1位	始良	30:58:17	7位	出水	31:34:50
2位	鹿児島	31:01:44	8位	曾於	31:50:20
3位	日置	31:02:04	9位	指宿	32:02:12
4位	川薩	31:21:24	10位	大島	32:26:21
5位	肝属	31:23:31	11位	伊佐	32:33:51
6位	川辺	31:25:06	12位	熊毛	32:42:01



## 『税』の大切さを知りました！ 小学生を対象に租税教室を開催



2月19日(水)、小学校の児童たちが税金について学ぶ『租税教室』が大崎小学校の6年生を対象に行われました。

これは、町税務課が『税金は安心して豊かな生活を送るために必要である』ということを児童に認識してもらうため、毎年行っています。

授業では、税の種類についてのクイズやDVDの視聴などを行い、児童らは税金について理解を深めました。

また2月4日(火)、野方小学校でも租税教室が行われました。

## デモスポの気運醸成を図ります 本格的なドッジボールを体験



2月23日(日)、町総合体育館において『ドッジボール教室』が開催されました。

これは、かごしま国体2020の本町のデモンストラーション競技であるドッジボールの普及と競技力向上を目的に、県ドッジボール協会と町国体実行委員会、町教育委員会が主催し実施したもので、町内の小・中学生約40名が参加しました。

教室ではボールの投げ方など基礎から指導がなされ、子どもたちは慣れないルールに戸惑いながらも楽しんでいる姿が印象的でした。